

2021年8月

日本カリキュラム学会 会員の皆様

「若手育成」の新企画（学生会員対象）のお知らせ

日本カリキュラム学会  
広報・若手育成委員会

このたび、若手育成の新企画として、「学生会員」を対象とする継続的な研究会を実施します。大学・研究室等の垣根を越えた、インカレゼミ的な研究会を定期的に実施することを通して、学生会員間のネットワークづくりを主たる目的とします。さらに、広報・若手育成委員会の委員を中心に、中堅・ベテラン会員も話題提供等で参加することで、ヨコやナナメの交流を活性化できればと考えています。

研究会の内容としては、まずは教育課程政策の読み解きから始め、参加者のニーズを聞きながら、共通文献の読み合わせ、研究の進め方の交流など、柔軟に展開できればと考えています。基本的にはオンラインで（時には対面で）、3、4か月に一回程度のペースで実施し、将来的には本会の年次大会等において何らかの企画・発信を行うことも、視野に入れています。

初回は、下記のような形で企画しています。事前申し込みも必要ありませんので、まずは集まって、司会・コーディネーターを中心に、参加者とともに計画も考えていきながら、学びの場を創っていただければと思っています。また、学生会員による本会への印象や要望を集約する場としても想定しています。そうしたつながりから、未来のカリキュラム研究を担うコミュニティや新たなムーブメントが生まれることを期待しています。

学生会員限定ではありますが、自主ゼミのような雰囲気、まずは気楽にご参加いただければ幸いです。

記

【テーマ】 「令和の日本型学校教育」を読み解く（その1）

【日時】 2021年9月20日（月・祝） 16:00-18:00

【開催方法】 Zoomによるオンライン開催

【趣旨】

GIGA スクール構想により整備される一人一台端末の効果的な活用のあり方も見据えながら、2021年1月26日、中央教育審議会答申「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して」がとりまとめられました。その副題は、「全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現」となっており、一人一人に応じた教育という指導法レベルのみならず、標準授業時数や学年学級制の意味、履修主義と修得主義といった教

育課程の基本的な枠組みに関わる論点を含んでいます。研究会の立ち上げに当たって、まずはこの答申の内容を、数回にわたって共有・検討するところから始めたいと思います。

初回の研究会では、中教審委員として答申作成にも関わられ、広報・若手育成委員会の委員長でもある、根津朋実先生に話題提供をいただいて、それをもとにグループディスカッションも交えて、議論していければと思います。

#### 【会の流れ（予定）】

趣旨説明：石井英真（京都大学、広報・若手育成委員会 副委員長）

話題提供：「令和の日本型学校教育」の概要と成立背景（仮） 根津朋実（早稲田大学）

フリーディスカッション（ブレイクアウト+全体交流）

司会：唐木清志（筑波大学、広報・若手育成委員会 委員）・石井英真

#### 【申込方法・問い合わせ先】

学生会員の場合、事前申し込みは不要です。一般会員は企画の性格上、参加できません。ご了承ください。

この企画に関するお問い合わせは、学会事務局宛の電子メール経由でお願いします。

日本カリキュラム学会 事務局：jscs@nifty.com

以 上